

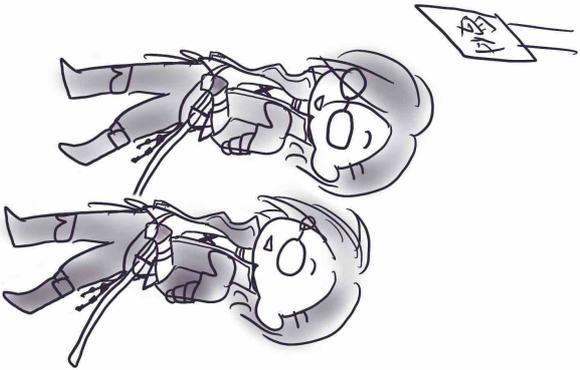
「な、雪下ろしとかどれだけやっても終わらへんねん」
「雪下ろしてそない大変なん？」
「大変やなあ。きれいにしても翌朝にはまた積もつとるねん」
「は、想像つかへん」
「雪降らんの？」
「たまりに降るかな。でも積もりはせえへんな」
「ええなあ」
「こつちはそろそろ梅が咲き始めたなあ」
「梅？ もう？」
「そつちはいつ咲くん？」
「あ、四月とかやろか……」
「冬なつが！ なんや冬に咲く花とかあるん？」
「あらへんなあ、ぜえんぶ雪の下やさかい」
「なんや寂しいなあ」
「まあ雪見酒できるって飲ん兵衛たちが毎晩騒ぐからなあ」
「は、それはまただいたい想像つくけど騒がしそうやなあ」
「あんた酒飲む？」
「強くはあらへんけど少しくらいは。なんで？」
「ええもんやる」

「うわ、国産のスモークチーズやん」
「昨日の宴でポケットに入れたままやってん」
「ほな自分もなんか、なんか、ないか……」
「気にせんでええよ。ほな、お手柔らかにな」
「そろそろ始まりますか。こちらこそ、お手柔らかにな」
「訓練くらい手え抜いてもええんと違いますか」
「ほんまになあ」



おしまい

「おやおや、明石国行ですやん」
「さう言う自分も明石国行ですやん。隊長？」
「せや、演練場は暖かくてええなあ」
「暖か……？ 充分寒いと思うで？」
「まあ寒いけど、本丸に比べたら暖かいなあ」
「……あ！ あんた、北の方の本丸やな？」
「せやで。主はん、演練上の方が暖かいからええで」
「……」
「それも難儀やなあ」
「あんたは南の方の本丸なん？」
「せや。けど主はんはコタツから出てくれへん」
「ははっ、うちもやで」
「明石国行を近侍にする主はんいうんは怠惰なんかなあ」
「さうかもしれへん。自分もだからだらしたいんやけどなあ」
「近侍はそれなりにすること多いもんなあ」



北の明石と南の明石

佐藤こおり

2021. 02. 07 佐藤こおり発行



お手に取っていただきありがとうございます。
います。佐藤こおりです。
そいうえば北日本のフナローさん、結構いらつしやるな、と思いついたお話を、お楽しみいただけました。QRコードはぼちぼち選択すると匿名で感想が送れます。良かったらぼちぼちお願いします！